

## 1 開会 校長挨拶

出席 (学校) 中川校長、瀧澤副校長、木下教頭(全日)、笹原教頭(定時)、管野事務長  
(評議員) 春田淳一、黒元浩志、太田隆久、岡田理恵、前野史賀 <敬称略>

## 2 内容

## (1) 校長挨拶

(2) 学校概況説明 全日制：木下教頭、定時制：笹原教頭

(3) 今年度の学校自己評価の結果及び改善策の説明 全日制：瀧澤副校長、定時制：笹原教頭

(4) 今年度の学校関係者評価及び意見交換

## 【全日制】

・岡田評議員：SSH 道外研修の関東コースの詳細を教えてください。

(回答)：関東コースは10名が参加し、東大地震研・海洋研究開発機構・国立博物館・JAXA等の最先端の研究施設を訪問し、科学・技術への興味・関心を高めることができた。

・前野評議員：自己評価の数値結果は素晴らしいと思う。

・黒元評議員：評価結果の変遷を見ると、着実に向上している数値結果と実感が一致している。

・岡田評議員：評価項目が変化してきた理由を教えてください。総務のHPの数値が相対的に低い。未だ改善が必要であると感じる。教育相談の実績について教えてください。

(回答)：評価項目については数値目標と連動させている関係で変化してきている。今後も学校の実態に即した数値目標を設定していきたい。教育相談の実績は、合計40時間、全日制生徒19名・保護者2名・教員2名、定時制生徒29名である。

・春田評議員：数値が全体として高く、上昇傾向にあるのは素晴らしい。自己評価以外に保護者アンケートも拝見したい。

(回答)：保護者アンケートについては、後日、送付させていただきます。

・太田評議員：春からの交通安全街頭指導に関連して、自転車指導を引き続きお願いしたい。規律を守った学校生活を続けて欲しい。そのための応援をしたい。

(回答)：交通安全指導は、引き続き行ってまいりたい。

## 【定時制】

・岡田評議員：定時制の退学者の内、通信制に移った5名の行き先を教えてください。

(回答)：すべて北海道有朋高等学校通信制である。

・岡田評議員：定時制の就職先の内訳を教えてください。

(回答)：ホテル、福祉関係施設、家業がそれぞれ各1名である。

・前野評議員：少人数での授業の高評価が素晴らしいと思う。

・黒元評議員：先生方の取組の成果が評価に表れている。よい雰囲気継続して欲しい。

・岡田評議員：学校説明会の実施月・参加者数・うち定時制の受検者数・市内の人数・PR方法をそれぞれ教えてください。

(回答)：実施月は11月。実施時期の設定が難しく、次年度の実施時期については引き続き検討したい。また、参加者数は6名(市内4名)で、全員が受検している。PR方法はポスター配布・説明を行っている。

・岡田評議員：中途退学者や50代~70代への広報を広げる必要があると思う。療育手帳保持者は何名か。

(回答)：広報については引き続き工夫していきたい。療育手帳保持者は1名在籍している。

・春田評議員：表の見方について、Aが4点、Bが3点でよろしいか。頑張った結果が出ている。

・太田評議員：卒業式に出席したが、感動的な式であった。夜間通学の様子を教えてください。

(回答)：夜間通学については、保護者の送迎が主となっている。

(5) 閉会 校長挨拶

(記録 木下)